

(音楽) 授 業 シ ラ バ ス

教 科	科 目	単 位 数	学 科(コ ー ス)・学 年
音楽専門	声楽(声楽主専攻者)	3単位	芸術科(音楽) 第3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	○発声に関する基礎的な技術を習得し、正しい音程で歌唱できる。 ○イタリア語の発音や意味を理解し、音楽性豊かな表現能力を養う。		
教科書副教材等	コンコーネ50番(全音楽譜出版社) イタリア歌曲集1・2(全音楽譜出版社) ロッシーニ・ベッリーニ・ドニゼッティ・ドナウディ・オスティ 日本歌曲他	授業形態	個別指導

2 学習計画

学期	月(週)	学習内容	学習のねらい	備考	評価方法
1 学期 (14)	4 (3)	【コンコーネ50番】 No.36～50	○声楽独唱者としての演奏技術の徹底 ○イタリア歌曲における様々な作曲家の楽曲を、正しい言語の発音と豊かな響きで歌えるようにする。		1学期実技テスト 【イタリア歌曲及び 日本歌曲】 任意の2曲
	5 (4)	【イタリア歌曲集】 ○ロッシーニ			
	6 (4)	○ベッリーニ ○ドニゼッティ ○ドナウディ			
	7 (3)	○オスティ 【日本歌曲】			
2 学期 (16)	8 (1)	【コンコーネ50番】 No.36～50	○声楽独唱者としての演奏技術の徹底 ○イタリア歌曲における様々な作曲家の楽曲を、正しい言語の発音と豊かな響きで歌えるようにする。	12月 卒業演 奏会	卒業試験 自由曲2曲
	9 (4)	【イタリア歌曲】 ○ロッシーニ			
	10 (4)	○ベッリーニ ○ドニゼッティ ○ドナウディ			
	11 (5)	○オスティ 【日本歌曲】			
	12 (3)				
3 学期 (5)	1 (4)	○任意の声楽曲	○声楽独唱者としての演奏技術の徹底および、表現力の向上を目指す		声楽試奏会(2月)
	2 (1)				

週数35 × 3単位 = 合計105時間

(音楽) 授業シラバス

教科	科目	単位数	学科(コース)・学年
音楽専門	声楽(ピアノ主専攻者)	3単位	芸術科(音楽) 第3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	○発声に関する基礎的な技術を習得し、正しい音程で歌唱できる。 ○イタリア語の発音や意味を理解し、音楽性豊かな表現能力を養う。		
教科書副教材等	コンコーネ50番(全音楽譜出版社) イタリア歌曲集1・2(全音楽譜出版社) ロッシーニ・ベッリーニ・ドニゼッティ・ドナウディ・ステイ 日本歌曲他	授業形態	個別指導

2 学習計画

学期	月(週)	学習内容	学習のねらい	備考	評価方法
1 学期 (14)	4 (3)	【コンコーネ50番】 No.36～50 【イタリア歌曲集】 ○ロッシーニ ○ベッリーニ ○ドニゼッティ ○ドナウディ ○ステイ 【日本歌曲】	○基礎的な声楽の演奏技術の徹底 ○イタリア歌曲における様々な作曲家の楽曲を、正しい言語の発音と豊かな響きで歌えるようにする。		【コンコーネ50番】 任意の1曲 【イタリア歌曲】 任意の1曲
	5 (4)				
	6 (4)				
	7 (3)				
2 学期 (17)	8 (1)	【コンコーネ50番】 No.36～50 【イタリア歌曲集】 ○ロッシーニ ○ベッリーニ ○ドニゼッティ ○ドナウディ ○ステイ 【日本歌曲】	○基礎的な声楽の演奏技術の徹底 ○イタリア歌曲における様々な作曲家の楽曲を、正しい言語の発音と豊かな響きで歌えるようにする。	12月 卒業 演奏会	卒業試験 任意の歌曲2曲
	9 (4)				
	10 (4)				
	11 (5)				
12 (3)					
3 学期 (4)	1 (3)	○任意の声楽曲	○基礎的な声楽の演奏技術および、歌唱の表現力向上を目指す		声楽試奏会(2月)
	2 (1)				

週数35 × 3単位 = 合計105時間

(音楽) 授業シラバス

教科	科目	単位数	学科(コース)・学年
音楽専門	声楽(管弦打楽器主専攻者)	1単位	芸術科(音楽) 第3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	○発声に関する基礎的な技術を習得し、正しい音程で歌唱できる。 ○イタリア語の発音や意味を理解し、音楽性豊かな表現能力を養う。		
教科書副教材等	コンコーネ50番(全音楽譜出版社) イタリア歌曲集第1巻(全音楽譜出版社) 日本歌曲他	授業形態	一斉授業

2 学習計画

学期	月(週)	学習内容	学習のねらい	備考	評価方法
1 学期 (13)	4 (3)	【基礎練習】 ヴォイストレーニング	○正しい姿勢、呼吸法、発声等の基礎を学習する。 ○コンコーネ50番を階名、母音で歌えるようにする。 ○イタリア語での歌唱に慣れる。 ○イタリア語の歌詞の意味を理解する。		実技テスト(6月)
	5 (4)	【コンコーネ50番】 No.26~50			
	6 (4)	【イタリア古典歌曲集】第1巻			
	7 (2)				
	8 (1)	【基礎練習】 ヴォイストレーニング			
2 学期 (17)	9 (4)	【コンコーネ50番】 No.26~50	○コンコーネを階名、母音で歌えるようにする。 ○レガート唱法を意識する。 ○イタリア語を正しく発音し、歌詞の内容を理解して歌唱する。 ○伴奏を行うことによりアンサンブル能力を高める。		実技テスト(11月)
	10 (5)	【イタリア古典歌曲集】第1巻			
	11 (4)				
	12 (3)				
	1 (4)	【基礎練習】 ヴォイストレーニング			
3 学期 (5)	2 (1)	【日本歌曲集】	○日本語を正しく発音し、歌詞の美しい響きを感じながら歌唱する。 ○伴奏を行うことによりアンサンブル能力を高める。		声楽試奏会(2月)

週数35 × 1単位 = 合計35時間